

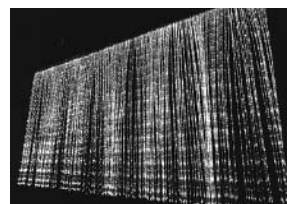
結びの技光る、輝きの空間

(株)フィルノット 代表取締役 本田 寿子さん



イバーを試しに結んだところ、結び目がピカツと光ることに気づきました。光ファイバーは光が真つ直ぐに進むのが常識で、これまで側面発光という発想はなかったんです。門外漢の視点が、新しい発見につながったのだと思います。

するユニット(部品)化の発想です。光ファイバーの各部品を小型のLED光源にそれぞれつなぐことで、配線を簡素化することに成功しました。建築デザイナーや店舗デザイナー、ディスプレイ事業者などに、空間演出のためのツールとして、気軽に活用してもらいたいですね。



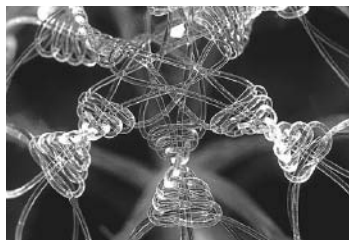
七色に輝く光のカスケード

古来の結び方「マクラメ」技法を使って、

光ファイバーを側面発光させる特許技術を開発した(株)フィルノット。柔らかな光で空間をやさしく演出する、装飾用ユニット型光ファイバー・システムが、今回のビジネスプランコンテストで評価されました。

「光ファイバー」に注目した理由は？

本田 手芸教室を30年以上開催し、多くの生徒さんに編物や刺繍の面白さを伝えてきました。なかでも、古代の結び技法である「マクラメ」は、針など一切使わず、手だけで豊かな造形を表現できるのが魅力です。しかし、麻や綿など決まった素材で



は、どれも似たような作品になってしまいがちです。面白い素材で世の中にあるものを作れないか…。たまたま見つけた光ファ

ー実用化までの苦勞や工夫は？

本田 発光にムラがあるというのが大きな問題でした。光ファイバーの結び方によって、光の強さはまったく異なります。また、光源から距離が遠くなるほど、光はどんどん減衰していきます。そこで、手芸教室で培った技術を活かし、光の色合いや強弱の異なる結び方やつなぎ方を工夫して、思い通りに光らせる設計図を考えていきました。こうした取り組みが認められ、国内外のテーマパークのナイトパレード用衣装などに採用されるようになりました。

ー認定プランの強みは？

本田 光ファイバー照明を見て「面白い！」と言ってくれるお客さまは多いのですが、施工の際、すべての光ファイバーを一カ所的大型光源機に集約する必要があるため、配線が複雑でコストも高くなり、なかなか普及しませんでした。もともと手軽に…という思いから生まれたのが、照明器具を「電源」「光源」「光ファイバー」の3つに分割

ー京商の支援に期待する点は？

本田 8月6日から実施される「京の七夕」では、今回の認定をきっかけに、光のオブジェ「Milky Tower」を出展することになりました。これからも、当社の光ファイバー照明をアピールする機会をどんどん提供してほしいですね。また、今までモノづくりの技術だけでやってきたのが、今後はしっかりとしたビジョンや経営戦略を持って、新規事業の開発に取り組みでいきたいと思っていますので、ぜひ継続的な経営サポートをお願いします。



「Milky Tower」

京の七夕 「フィルノット作品展示」

8月6日(土)～15日(月)
19:00～21:30
堀川会場
<http://kyoto-tanabata.jp/>

〈会社概要〉

(株)フィルノット

光ファイバーを使用したコスチューム・オブジェ・店舗内装照明などの製造販売
京都府乙訓郡大山崎町大山崎谷田77-60
☎075-962-0774

<http://www.philknot.net/>